

令和7年度第3回青梅市図書館運営協議会会議録（要旨）

日 時

令和7年11月19日（水）午後6時から午後8時

会 場

青梅市中央図書館多目的室

出席者

（委員）

沖川委員、平岡委員、園田委員、伊東委員、松井委員、中島委員

（事務局）

平岡社会教育課長、石田係長、太田

島田館長（指定管理者）、図書館スタッフ2人（指定管理者）

欠席者

（委員）

実森委員

○ 委嘱状の交付

教育長から新委員に対し委嘱状の交付

1 あいさつ

教育長

自己紹介

出席者全員

2 会長・副会長選出

会長に沖川伸夫氏を選出

副会長に平岡直実氏を選出

3 報告事項

(1) 指定管理者による図書館の管理運営について

（指定管理者）[資料にもとづき説明]

（委員）学校で、今後電子書籍をどう活用していけばよいか、調べものにしてもデジタルをどのようにまとめるか、そういったところも図書館のお知恵を借りながら学校側も進めていけた

らと感じた。

(事務局) 電子書籍を導入したことによって、本の楽しさや便利さを
知り、また、特に子どもたちに情報発信してもらうことで、
貸出回数や読書離れの解消につながる策になればよいと考えて
いる。

今後も、検証をしながらより良い電子書籍の活用につなげ
ていきたいため、色々な御意見をいただきたい。

(会長) 現在は、デジタルにより便利になっているメリットの一方
でデメリットもある。年配の方からはデジタル一辺倒では困
るという御意見もあり、年齢層によっても対応手段を多様化
させなければならず、なかなか一本化は厳しいと感じる。

(課長) 市としても、世代、状況等、図書館を利用してくださる
方々の様子を把握し、それに合う形で紙書籍、電子書籍の選
書をしていきたい。

(会長) 行事もいろいろな企画をされていて面白い。

図書館連続講座「オンラインデータベース体験会」は、新
聞や凡例のデータベースに触れることができるすごく重要な
機会であるため、引き続きこの取り組みを発展させていただ
きたい。新聞・雑誌などの図書館のデータベースは、青梅市
図書館利用者が自宅から閲覧することは可能か。

また、電子書籍が始まったということで、例えば、青梅市
の市史やそれ以外の毎年の年報、統計類、市政概要等、その
ような著作権が絡まないものを載せていただきたい。

(指定管理者) 電子書籍は自宅からも見ることができますが、図書館のデ
ータベースは、図書館のパソコンからのみ閲覧できる契約で
す。

(事務局) 青梅市電子書籍サービスとして市の行政資料を公開してい
ませんが、図書館ホームページから青梅市のホームページへ
リンクがあり、そこから検索して閲覧できるようになってい
ます。

(2) 第9回青梅市図書館を使った調べる学習コンクールについて

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(委員) 令和5年度に続き応募数が多かったということで、何か工夫等があったのか。

(指定管理者) 子どもたちが考え方を広めて、疑問をさらに深いところまで掘り進めていくことができるよう、試行錯誤し、講座等、関連の行事やワークショップを実施した結果、今年度の応募が増えてきていると考えます。

(指定管理者) 中学校2校で学校司書が協力し、授業として取り組んだ作品を調べる学習コンクールに応募していただいたため応募作品が多くなった。

(委員) 小学校は、ワークショップの取り組みが成果に繋がったと思う。また、作品は年々良くなっていると感じる。

中学校は、評価評定の絡みや授業でそのような取り組みをする時間的な余裕がないという話も聞かれる。

子どもたちが自分が色々な学びの中で興味を持ったものに対して積極的に調べる姿勢をもてるようにPRしていきたい。

(会長) 質の向上を反映してか、小学生の部の賞の人数も増えており、甲乙つけがたい作品が多かったのではという印象を受ける。

日頃の図書館、学校関係者の方々の努力の賜物である。

(3) 青梅市図書館の年末開館の試行について

(事務局) [資料にもとづき説明]

※12月29日の中央図書館開館の報告について、質疑なし

4 その他

(事務局) [次回以降の運営協議会開催時期等について説明]

(会長) 以上で予定した案件は全て終了しました。

これをもちまして令和7年度3回青梅市図書館運営協議会を閉会とします。